

# 自立貢献

あいさつは あふれる笑顔の あいことば

URL <http://www.edu.city.yokohama.jp/school/jhs/nishikidai/>

横浜市立錦台中学校 学校だより

発行日 平成30年6月1日(金)

発行者 学校長 森 健太郎

所在地 神奈川県西寺尾三丁目10番1号

電話 401-3644 FAX431-0244

学年行事を終えて

校長 森 健太郎

各学年行事が終わりました。1年生は自然教室を5月27日より1泊2日、西湖で行いました。1日目は紅葉台ハイキング、鳴沢氷穴を見学し、夜はキャンプファイヤーを行い、クラスごとのスタンプで盛り上がりました。2日目はクラスごとに酪農体験・バーベキューを行いました。2日ともまずまずの天候で、予定通り実施することができました。2年生は5月22日、来年度の長崎修学旅行のために羽田集合をはじめとし、昭和記念館・班別自主活動を行い、2020年東京オリンピックが開催される都市を班ごとに散策しました。それぞれ学年・クラスの団結を深めることができました。3年生は平和学習の総決算として5月19日より、広島・京都方面に修学旅行を行いました。1日目、広島平和記念公園・原爆資料館見学後、1945年8月6日8時15分広島に原爆が投下され、被爆された切明千枝子さんの講話がありました。当時女学校の生徒だった切明さんは病院に行く途中に被爆し、奇跡的に助かった方です。安全な所へ避難して行く途中で多くの遺体や熱風で皮膚が手足の爪のところで垂れ下がっている人のこと、全身やけどの下級生が水をほしがり、飲ませてあげようとしたら、「飲ませたら死んでしまう！」といわれ寸前で止めたことなど当時の悲惨な状況をお話いただきました。現在89歳の切明さんは約1時間お話しいたさき、生徒達は皆真剣に聞いていました。ご自身もガラスの破片が体中に刺さり血だらけだったことや、その後放射能の後遺症で、髪の毛がすべて抜けてしまったこと、今まで何回も手術をしているのですよと後で笑いながらお話しされていたのがすごく印象に残っています。当時の悲惨な状況を多くの子どもたちに語り、戦争は決して起こしてはならないことを体の続く限り伝えたいとおっしゃっていました。2日目、3日目は京都班別自主行動・クラス別体験学習を行い、古都の歴史と文化に触れてきました。

今年度、広島県教育長に着任した平川先生は昨年まで横浜市立中学校の校長先生でした。今回、修学旅行で広島に行くことを連絡しました。職務のためお会いすることはできませんでしたが、錦台中学校生徒のために「マンガで語り継ぐ 広島の復興—原爆の悲劇を乗り越えた人々—」を寄贈していただきました。原爆被災後の水道、路面電車、銀行、商店、三輪トラック、広島名物など復興の様子が、まんがでわかりやすく描かれたものです。図書室に置いてもらいますので、是非読んでみてください。